

## 第36期第1回理事会議事録

日時：2025年1月18日（土）14:00～17:00

場所：Zoom 会議

出席者（50音順、敬称略）：浅海、岡原、小笠原、喜多村、楠本、倉岡、高畑、佐藤、清水、中谷、西、橋元、樋上、深井、本田、増田、守田、山下、山瀧、山本

特別参加：堀江正知 先生/副学長

欠席：荒木、池上、加藤、久保

### 1. 会長挨拶（西）

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。昨年は元日の能登半島地震や翌日の飛行機事故などがあり慌ただしい年のはじまりでしたが、今年は穏やかに新年を迎えることができました。産推研の第36期は昨年10月からスタートし、本日までの期間にも様々な行事がありました。理事各位においてはそれぞれの役割を果たしていただき本当にありがとうございます。第36回全国大会は顧問の大久保利晃先生はじめ多くの先生方から好評をいただきました。特に若手の元気な力を感じる素晴らしい大会でした。これをきっかけに今期は産推研全体で若手の活用を進めていきたいと考えています。

### 2. 大学近況（副学長 堀江様）

[教育]

#### 【医学科】

医学部モデルコアカリキュラム（平成28年度改訂）

- 新カリキュラム 平成31年度開始、令和6年度完成
- 行動科学、医療倫理学、社会医学の科目責任者
- 実習時間の延長

医学部モデルコアカリキュラム（令和4年度改訂）

- 令和6年度から産業医学Ⅰを全面改訂

#### 【看護学科】

保健師助産師看護師学校養成所指定規則（令和2年度改正）

- 地域・在宅看護論 ← 在宅看護論
- 102単位 ← 97単位

令和8年度からカリキュラム改正

#### 【産業衛生学科】

令和8年度からカリキュラム改正

#### 【入試】

令和7年度からの変更点

看護学科

- 東京会場を設置 → 受験申込あり

産業衛生科学科

- 一般選抜第2次試験の学力検査を廃止
- 学校推薦型選抜に理数型を新設

令和7年からの変更点

教務課入試事務室 → 入試課

国家試験

- 医学科成績下位者への補習
- 衛生工学衛生管理者研修（卒業直後実施、全員受講済）

[研究]

大型研究費申請結果

- オープンアクセス加速化事業 → 採択
- 高度医療人材養成事業 → 不採択
- 共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT） → 不採択

[産業保健職養成]

産業医新規従事者数（目標70人以上/年）

- 令和5年度実績は80名（令和4年度88名）

医学部卒業生の不同意離脱

- 日本専門医機構「従事要件がある専攻医の不同意離脱は研修と認めない」
  - 第三者委員会を設置し、事例ごとに同意/不同意を判定
- 卒後修練過程の見直し
- 後期修練過程の途中でコース変更許可（3年次から再開）

#### [病院運営]

##### 急性期診療棟

- 病床稼働率や売上げは堅調。ただし、光熱費、材料費、人件費の高騰で利益率は低迷
- 産業医科大学病院支援金 個人1口5,000円以上  
[https://www.uoeh-u.ac.jp/University/Corporation/h\\_kifu](https://www.uoeh-u.ac.jp/University/Corporation/h_kifu)
- 産業医科大学教育研究支援募金 個人1口5,000円以上  
[https://www.uoeh-u.ac.jp/University/Corporation/u\\_kifu.html](https://www.uoeh-u.ac.jp/University/Corporation/u_kifu.html)

#### [社会貢献]

##### 国際交流

##### 大阪万博関連イベント ILO Youth Congress

- 江口尚教授 メンタルヘルス講義
- 学生チーム コンテストに参加（財津将嘉教授が指導）

##### MOU

- ILO、パトヴァ大学と MOU 締結

#### [業務運営]

第4次中期目標・中期計画（令和4～9年度）第3年度目  
 大学基準協会（JUA）令和3～10年度（第3期）認証取得  
 日本医学教育評価機構（JACME）令和5～12年度認証取得  
 改正私立学校法への対応（令和7年度）

- 理事と評議員の兼業禁止（執行と監視・監督の権限分離）
- 会計監査人の設置（資金前渡役の一括）

##### 令和7年度補助金概算要求

- 令和7年度定員削減 ▲2名（教員の削減を停止）
- 令和2年度～6年度 合計35名
- 令和7年度～11年度 合計6名（令和8年度以降1名）
- 令和7年度増員要求 +2名

キャリア形成プログラム支援体制強化1名

産業医等養成課程における学生支援強化1名

新職員宿舎（看護師等宿舎）令和7年2月竣工予定

令和7年度卒業式：令和7年3月4日予定

令和7年度入学式：令和7年4月3日予定

##### 新任教授（敬称略）

第一生理学 丸山崇

##### 教授選考済（敬称略）

第一解剖学 本田岳夫

公衆衛生学 中田光紀

医学教育改革推進センター 岩田勲

作業環境計測制御学 樋上光雄

##### 教授選考中

医学概論

第一内科学

### 3. 担当理事報告

#### 1) 会長（西）

➤ 2024年9月28日～2025年1月18日

- 10月4日 第34回全国協議会の際に開催された修練医の集いに出席
- 10月17日 厚生労働省労働衛生課長への挨拶・意見交換（佐藤副会長とともに）
- 10月25～26日 第36回全国大会出席及び臨時理事会開催

- ・10月27日 産推研カップ2024
  - ・11月8日 大学国際シンポジウム来賓挨拶（現地・英語）
  - ・11月11日 大久保利晃先生著書の制作会議（新横浜）
  - ・11月19日 けんさん会のあり方相談（けんさん会 日比野会長）
  - ・11月22日 樺風会だより寄稿確認（全国大会、地方会活動紹介）
  - ・11月29日 大久保利晃記念産業保健奨励賞候補者推薦
  - ・12月4日 医学部5年生学生現場実習中の説明会（動画作成）
  - ・1月1日 年始挨拶（会員向け）
- Zasso（理事の雑談・相談機会）を10月～1月に月1回実施
  - 医学部同窓会関係（副会長）

### 1-2) 会長提案

- 社会貢献活動
  - OHASを継続実施したい。ただし、従来のスタイルから変える。初心者産業保健職を対象とした座学研修と経験者を対象とした事例検討会の2つの研修会パターンで開催を検討する
- 会員サポート
  - けんさん会（産業保健コース修練医を支援する会）の継承（これを機に若手卒業生支援、医・看・衛と広い範囲で行うことを検討）
  - シニア層の会員への対応（卒期の早い会員（会員歴は問わず）への会に参加のメリット提供）
  - 看護、衛生の会員への交流手段の構築
- 役員改選（世代交代を図り、候補者選定）
- あり方検討会開催準備（第37期～第38期で検討し、第39期に答申予定）
- 理事会業務の見直し
  - 評議員を活用し、理事の負担軽減を図る

### 2) 総務（佐藤、中谷）

#### 会員管理

- 2025年1月13日時点の会員総数は999人となっている。

#### 評議員会について

- 議員の改選を行った。結果98名の継続と20名の退任（19名が退任意志表示、1名が返信なし）が決まり、新規任命17名が決定した。1月中旬に退任評議員には委任終了通知（御礼）を、継続評議員と新規任命評議員には委任状を送付したい。
- 第36期第1回の評議員会を2025年4月12日（土）17:00～19:00で開催予定。その後懇親会を予定。
- 評議員の役割は、従来の産推研の運営への助言や功績賞の候補者推薦協力に加えて、新しい活動の展開を今後検討している。

#### 功績賞について

- 選考委員の第1期（任期3年）が終わり、第2期委員の改選を検討

### 2-2) 総務担当理事からの発議事項：産業医学専修医（他学卒）を会員資格に加えるか

- 過去の議論を経て、産推研は産業医科大学卒業生で産業医学（産業保健）に関係する者を支援する会として今後もその方向性は維持することとしている。
- 産業医科大学HPにおいて、産業医学専修医は産業医科大学卒業生が所属する「産業医学卒後修練過程」のうち、産業医学分野を専門とする「専門産業医コースI」とほぼ同等の修練を行うことが可能と記されている。
- 2022年4月の会則改正において正会員を学部卒業生に加えて大学院在学および修了生も含めた。この時点で特別会員は原則として産業医科大学の常勤教職員のみとしていた。

#### 【理事会決議】

産業医学専修医を修練期間中および修練期間後も特別会員資格を認める。該当者から入会希望があった場合は、理事会にて特別会員としての入会を審議し決定する。産業医学専修医の特別会員資格については、産推研会則施行細則改正を行う予定。

### 3) 会計（守田、本田）

- 第36期年会費納入状況が報告された。年間予算に対して到達率71%である。
- 医学部同窓会からの助成金は第36期10万円で申請した。それ以外の助成金は例年通り。

- 医学部学生実習生へのオンライン説明会参加支援（QUOカード）25名分53,300円を理事会費より支出した。各地方会に現地参加した学生の参加支援は各地方会予算より支出した。
- 年会費3期連続未納者に対して理事を通じて最終督促してきた。2025年1月末日までに入金を確認できなかった者は、会則に従い自動退会とする。
- 未納退会候補者（今期も未納の場合に自動退会の対象となる者）も多く残っており、今期に理事から督促連絡を行う。
- 第35期決算案と第36期予算案が報告された。

#### 4) 広報（山瀧、山下、山本、荒木）

##### 主な報告内容

- 産推研/メンバーシステム HP について
  - 産推研 HP は鈴木さんに委託している。
  - サーバをお名前.comの有償サーバで運用している。
  - 産業保健活動支援情報
  - 会員限定情報はメンバーシステム HP を利用している。
- 産推研 ML の運用 について
  - 943人、1158件に配信している（2025年1月時点）。
  - 配信の漏れ、遅れが発生している。（メールアドレスの複数登録を奨励）
- メルマガ発行
  - 年4回、地方会予定などを掲載している。
  - メンバーシステムからの不達が68人ある。
- 産推研紹介動画作成
  - （※限定公開のため、このPDFファイルではURLを省略。URLは2025年1月27日投稿の産推研 ML [SSK:007537]に記載。）
- 評議員 Slack 作成
  - 運用中であるが、投稿低調。

今後の検討内容として、産推研の認知向上、HPの運営、メルマガ等の媒体の活用を考えている。

- 産業医科大学学生諸君に贈る歌の音声を stand.fm の産業医学推進研究会チャンネルに掲載（会員限定）

#### 5) 研修教育（増田、楠本、樋上）

##### 第35期活動

- OHAS 2024（7月15日開催）：増田が講師（の一人）を担当
- 「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル」解説講義（講師：宮内博幸先生（産業保健学部作業環境計測制御学教授））を2025年2月4日に開催予定である。1月7日「SSK:007510」にて開催を周知した。

##### 今後の活動方針・予定

- 年1回程度、各地方会とは別に研修会等を開催
- 講師謝金規程を策定（地方会基準に準拠）

#### 6) 学術（喜多村、池上、久保）

##### 業務内容と第35期第2回以降の実績

- 第42回産業医科大学学会総会学会賞（産業保健分野）の推薦：災害産業保健支援チーム
- 産業医学推進研究会の学術面からのサポート：0件
- 産業医学推進研究会が主体として実施する研究への支援
- 会員向け調査の内容の確認：0件
- 産業医科大学と産業医学推進研究会の学術面での連携の窓口：0件
  - 高産研の財津教授より、現在内々の相談1件あり

#### 7) IT（清水、橋元、倉岡）

- 前回の理事会で決議されたとおり、Zoom年間アカウント契約が本日で切れて、今後は利用時に各理事が月間契約を結ぶ方式に切り替わる。

## 5. 地方会報告

### 1) 近畿 (深井)

- 医学部 5 年生向け産推研の説明会&懇親会 in 近畿  
2024 年 12 月 4 日 @グランフロント大阪タワーA34 階 株式会社リードウェル内会議室  
参加者：学生 15 名、産業医：9 名  
懇親会@グランフロント大阪北館 NORTH tRunk
- 近畿地方会第 52 回研究会を開催予定。テーマと演者は後日発表予定。開催予定日 2025 年 4 月 19 日 or 26 日 (土) 15:00~17:30。場所は大阪市内を予定。後日オンデマンド配信予定。

### 1-2) 第 36 回全国大会の開催報告

- 実行委員長：深井恭佑 (医 26)
- 事務局長：堤雄介 (医 27)、伊藤遼太郎 (医 33)、福田郁巳 (看 8)
- 2024 年 10 月 26 日 (土) に大阪市中央公会堂において開催した。
- 参加者 185 名 (現地参加+オンデマンド登録)
- 今後の予定：記録集の発行、郵送 (来賓、大学などへ)。全国大会の決算。口座の引継ぎ。

### 2) 関東 (小笠原)

- 医学部 5 年生向け産推研の説明会&懇親会 in 関東  
2024 年 12 月 4 日 19:00~21:00@バンクシア・ワイン・ラ・ターブル (新丸ビル 6 階)  
参加者：学生 11 名、産業医・保健師：13 名
- 関東地方会第 86 回研究会  
日程：2025 年 2 月 8 日 (土) 14:00~17:00  
テーマ：産業保健の日常業務の課題感・対話ワークショップ  
講師：①産業保健における頭痛 横山雅子先生 (富士通株式会社産業医)  
②職場巡視 遠藤武尊先生 (株式会社 SUBARU 産業医 医 28)  
会場：日本橋ライフサイエンスハブ 8F (現地開催のみ)  
懇親会：会場近辺検討
- その他 (関東地方会後援)  
J-ECOH スタディ第 136 回検討会  
日程・場所：2025 年 3 月 8 日 14:00~17:00、TKP 神田ビジネスセンター5 階 502 号室
- 関東地方会会計報告があった。

### 2-2) 第 37 回全国大会開催準備報告

- 日時：2025 年 10 月 18 日 (土)  
場所：東京都台東区浅草 台東館 (現地開催のみ)  
実行委員長：坂本宜明 (医 19)、清本芳史 (医 20)、楠本真理 (看 2)、西浦千尋 (医 21)  
事務局メンバー：会場及びグループワーク、託児所係 (坂本、長濱、江口、福中、小森、木村、渡瀬)  
/体力測定係 (楠本、坂口、佐々木 (規)、駒井) /懇親会係 (楠本、桃井、駒井、田中) /講演  
係 (清本、末広、堀、江口) /会計係 (西浦、小森) /プロフィール集め (清本、瀧上) /記録  
集・写真 (西浦、大津)

#### 【企画概要】

- テーマ： 集まれ！産推研 頭と体をフル活用 (仮)  
プログラム：第 1 部 運動系の基調講演 藤原新 (あらた) 様  
第 2 部 体力測定・運動について  
第 3 部 ディスカッション企画  
懇親会：台東館 8 階 精養軒  
その他企画：つながり企画 /プロフィール集作成

### 3) 東海 (高畑)

- 医学部 5 年生向け産推研の説明会&懇親会 in 東海  
2024 年 12 月 4 日 19:00~20:45 @Zoom を使ったオンライン形式  
参加者：学生 6 名、産業医 5 名
- 東海地方会第 31 回研究会 2025 年 3 月 8 日 (土) 13:30~16:40 @現地 (ウインクあいち) & オンライン  
<会員報告> 椎木文香さん (看 20 期卒)

<基調講演>シャイニング・ライフ 水越真代氏 (NPO 法人アスク会長 今成知美氏)

- 東海地方会会計報告があった。

#### 4) 九州 (浅海)

- 2024年10月12日 九州地方会第54回研究会／第42回産業医科大学学会との共催  
ハイブリッド開催：参加者144名（会員78名、会員外66名（教職員25名、学生41名））  
特別講演 “臨床に活かした産業医の経験”  
演者 光岡浩志先生（医15期卒：九州鉄道記念病院・消化器内科）  
座長 浅海洋先生  
共同企画・教育講演 “産業保健職が知っておくべき皮膚疾患の基礎知識”  
演者 澤田雄宇先生（医23期卒：産業医科大学皮膚科学・教授）  
座長 池上和範先生  
長田良雄先生（産業医科大学 免疫学・寄生虫学）
- 2025年1月25日 九州地方会第55回研究会／産衛九州地方会 医部会・日本人間工学会との共催  
ハイブリッド開催：現地（博多）、参加登録（120名超）  
講演 “産業保健の未来を共に創る～人間工学の最前線と新たな挑戦～”  
演者 榎原 毅先生（産業医科大学 産業生態科学研究所 人間工学 教授）  
座長 倉岡 宏幸先生
- その他（九州地方会後援）  
第43回福岡県アルコール関連問題 市民公開セミナー  
メインテーマ「アルコール関連問題を知る」  
日時・場所：2025年2月9日 12:30～16:00、ウエル戸畑 中ホール

#### 7. 医学部同窓会（西）、樽風会（樋上）

- 医学部：研究会助成について、助成希望団体がコロナ後で増加。一方、助成金総額の枠もあるため役員で検討し、助成額を決めていく。  
→産推研も助成を受けているが、状況を鑑み昨年度より額を下げている申請中
- 樽風会：特記無し

#### 8. 今後の日程

- ・第36期評議員会（リモート形式） 2025年4月12日（土）17:00～19:00
- ・第2回理事会（現地開催予定） 2025年5月24日（土）14:00～17:00
- ・第3回理事会（ハイブリッド形式） 2025年9月27日（土）14:00～17:00

以上